

好事例(令和4年度評価が令和3年度評価から改善(D~B⇒A)した事業)

参考6

令和4年度事業番号	令和3年度事業番号	事業名	令和4年度評価	令和3年度評価	令和3年度に未達成だった成果目標と実績	令和4年度の成果目標と実績 (令和3年度未達目標関係、令和3年度から変更した目標を抜粋)	評価改善のための取組	
7	7	労災疾病臨床研究補助金事業	A	B	指標	【アウトプット】 公募課題1件当たりの平均応募を1.5件以上とする。	【アウトプット】 公募にて採択された課題であって、申請時に研究事業予定期間が令和4年度終了予定の課題のうち、各年度の間・事後評価委員会の評価を経て、研究事業予定期間どおり研究を終えた研究課題の割合が80%以上であること。	<p><目標変更理由></p> <ul style="list-style-type: none"> ・アウトプット指標については、本補助金が研究の成果により、労働者の福祉の増進に寄与することを目的としていることから、研究事業予定期間どおり研究を行うことを目標とした。 <p><改善の取組等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・採択時等における評価委員からの指摘を研究者にフィードバックするとともに、行政施策の充実につながるような研究成果となるよう担当部署が研究者とコミュニケーションを適切に図るよう努めた。
					実績	【アウトプット】 公募課題1件当たりの平均応募数:1.25件 (公募課題4件、応募数5件)	【アウトプット】 研究事業予定期間どおり研究を終えた研究課題:100%	
16	16	安全衛生啓発指導等経費	A	C	指標	【アウトプット】 ホームページのアクセス件数を4,700万件(平成30年度~令和2年度平均:約4,692万)以上確保する。	【アウトプット】 ホームページのアクセス件数を4,300万件以上確保する。	<p><目標変更理由></p> <p>不審なアクセスを除いた過去5年の平均アクセス件数を目標として設定した。</p> <p><改善の取組等></p> <p>不審なアクセス分を除いて目標設定したことに加え、見やすさの観点でホームページデザインを更新する等の対応により、目標を達成した。 なお、HPの運営はR5からは独立行政法人労働者健康安全機構が運営費交付金により行うことから、R5年度では目標から削除している。</p>
					実績	【アウトプット】 ホームページのアクセス数:40,666,889件	【アウトプット】 ホームページのアクセス数:48,407,351件	

令和4年度事業番号	令和3年度事業番号	事業名	令和4年度評価	令和3年度評価	令和3年度に未達成だった成果目標と実績	令和4年度の成果目標と実績 (令和3年度未達目標関係、令和3年度から変更した目標を抜粋)	評価改善のための取組
17	17	職業病予防対策の推進 (東電福島第一原発の被ばく線量低減対策の強化)	A	C	<p>【アウトカム】 MS導入支援を受けた事業場の中から、20事業場以上を好事例事業場として選定し、他の事業場に導入状況を報告する。</p> <p>【アウトプット】 ・廃炉等作業員の健康支援相談を窓口等で年間54回、産業保健支援に係る研修会等を年間10回、相談員協議会を年間2回開催し、ホームページにおける健康管理情報の更新を年間22回行う。 ・MS導入支援を実施する事業場を48件以上とする。</p>	<p>【アウトカム】 MS導入支援を受けた事業場の中から、10事業場以上を好事例事業場として選定し、他の事業場に導入状況を報告する。</p> <p>【アウトプット】 ・廃炉等作業員の健康支援相談を窓口等で年間54回、産業保健支援に係る研修会等を年間10回、相談員協議会を年間2回開催し、ホームページにおける健康管理情報の更新を年間22回行う。 ・MS導入支援を実施する事業場を30件以上とする。</p>	<p><目標変更理由> R3年度ではアウトカムで1つ、アウトプットで2つ目標達成出来なかった。このうち、MS(マネジメントシステム)の導入に係るアウトカム、アウトプット指標については、コロナで受け入れの体制が医療機関になく、目標達成が難しい状況であったため、コロナが続くことを想定し、R3年度の目標で達成出来ない残数分を4年度目標とする変更を行った。</p> <p><改善の取組等> 目標数を減らしそれに合わせて予算規模も縮小した。その上で、各事業について適切な進捗管理を行った結果、目標達成できた。</p>
					<p>【アウトカム】 ④11事業場の事例を好事例として選定し、本事業に参加した約250の医療機関の事業場間で共有した。</p> <p>【アウトプット】 ②廃炉等作業員の健康支援相談窓口を年間53回、産業保健支援に係る研修会を年間6回行い、相談員協議会を年間2回開催し、ホームページにおける健康管理情報の更新を年間27回行った。 ⑥MS導入支援を19件の事業場に対して行った。</p>	<p>【アウトカム】 ③12事業場の事例を好事例として選定し、本事業に参加した約200の医療機関の事業場間で共有した。</p> <p>【アウトプット】 ②廃炉等作業員の健康支援相談窓口を年間60回、産業保健支援に係る研修会を年間10回行い、相談員協議会を年間2回開催し、ホームページにおける健康管理情報の更新を年間27回行った。 ⑤MS導入支援を30件の事業場に対して行った。</p>	

令和4年度事業番号	令和3年度事業番号	事業名	令和4年度評価	令和3年度評価	令和3年度に未達成だった成果目標と実績	令和4年度の成果目標と実績 (令和3年度未達目標関係、令和3年度から変更した目標を抜粋)	評価改善のための取組
20	20	職場における化学物質管理の総合対策	A	D	指標	<p>【アウトカム】</p> <p>①職場における化学物質管理に関して周知啓発を図る講習会の受講者のうち、受講して「役に立った」とする者の割合を80%以上にする。</p> <p>②新規化学物質として届出のあったものうち、強い変異原性を有するものについて健康障害防止のための指針に基づく措置内容(通達)を示す。</p> <p>【アウトプット】</p> <p>①ラベル・SDSなど化学物質管理に関する相談窓口における相談件数を1,500件以上とする。</p> <p>②安衛法GLP適合確認の申請があった有害性調査機関全数について査察を実施する。</p>	<p>＜目標変更理由及び改善の取組等＞</p> <p>R4ではR3目標未達成部分の事業を独立行政法人労働者健康安全機構が行うため目標からは削除。その代わりとして講習会における満足度及び相談窓口における相談件数という新たな目標を設定し、計画的に事業を実施した結果、目標を達成した。</p>
					実績	<p>【アウトカム】</p> <p>①モデルラベル及びモデル安全データシートへのアクセス数を1,100万件以上にする。 ※安全データシート(SDS)とは、化学物質の成分や人体に及ぼす作用等、化学物質の危険有害性情報を記載した文書</p> <p>【アウトカム】</p> <p>①モデルラベル及びモデル安全データシート(モデルSDS)へのアクセス数は873万件であった。</p> <p>【アウトカム】</p> <p>①受講して「役に立った」とする者の割合は94.6%であった。</p> <p>②令和4年12月7日付け局長通達を发出し、新規化学物質として届出のあったものうち、強い変異原性を有する33物質について、指針に基づく措置内容を示した。</p> <p>【アウトプット】</p> <p>①相談件数は4,909件であった。</p> <p>②令和4年度中に安衛法GLP適合確認の申請があった6件の有害性調査機関全てについて査察を実施した。</p>	

令和4年度事業番号	令和3年度事業番号	事業名	令和4年度評価	令和3年度評価	令和3年度に未達成だった成果目標と実績	令和4年度の成果目標と実績 (令和3年度未達目標関係、令和3年度から変更した目標を抜粋)	評価改善のための取組	
31	31	家内労働安全衛生管理費	A	B	指標	【アウトプット】 ①家内労働安全衛生指導員による訪問指導を行う家内労働者数及び委託者数を800人以上とする。	【アウトプット】 ①家内労働安全衛生指導員による訪問指導を行う家内労働者数及び委託者数を700人以上とする。	<p><目標変更の理由> ①目標水準については、新型コロナウイルスが収束してもなお、家内労働者・委託者の長期的な減少傾向を踏まえると、規模に応じて目標の見直しが必要であり、都道府県労働局における指導員配置数や活動実績を鑑み700人以上と設定した。</p> <p><改善の取組等> ①家内労働安全衛生指導員による個別指導において、要改善事項の改善の必要性が理解されたため、目標を達成した。 ・本事業の着実な実施により、家内労働者の安全衛生の確保を促進するため、引き続き、事業運営の効率化に努めつつ、令和6年度も継続して要求する。</p>
					実績	【アウトプット】 ①家内労働安全衛生指導員による訪問指導を行う家内労働者数及び委託者数：652人	【アウトプット】 ①家内労働安全衛生指導員による訪問指導を行う家内労働者数及び委託者数：794人	
32	32	母性健康管理等対策費	A	D	指標	【アウトカム】 1 メールによる相談者でアンケートに回答した者のうち、相談者に対する回答が役に立ったとした者の割合95%以上	【アウトカム】 1 メールによる相談者でアンケートに回答した者のうち、相談者に対する回答が役に立ったとした者の割合95%以上	<p><改善の取組等> 相談者に対して、質問に対してきめ細やかにわかりやすい回答をしたこと及び言葉選びから心情にも寄り添うような丁寧な対応を行ったためと考えられる。</p>
					実績	【アウトカム】 1 93.1%(令和3年度におけるメールによる相談者でアンケートに回答があった58件のうち、役に立ったとした件数54件)	【アウトカム】 1 100.0%(令和4年度におけるメールによる相談者でアンケートに回答があった166件のうち、役に立ったとした件数166件)	